

議員になり2年半余りが過ぎました。この間、子どもたちの学校環境・子育て支援・ひとり親家庭支援・ご高齢の方をはじめ地域の皆様が安心してお暮し頂ける取り組みに努力してまいりました。これからも、皆様のお声に真摯にお応えできるよう邁進してまいります。

平成27年12月代表質問

☆奈良市議会 議会中継(ライブ・録画)が、奈良市のHPで見えます。
<http://www.gikai-tv.jp/dvl-narashi/2.html>

質問1：地域福祉の視点に立った地域包括ケアシステムの構築について。

観点：地域包括ケアシステムは、地域福祉の視点に立って構築することで、高齢者のみならず障がい者・児、ひとり親家庭、子育て世代、生活困窮者などへの支援につながる体制となる。そのためには、市社会福祉協議会との協働が必要となる。

答弁(市長)：地域福祉・地域包括ケアシステムを進めるための地域におけるインフォーマルサービス構築については、奈良市社会福祉協議会との連携が必要であり、密接に連携し計画策定を進めていく。※インフォーマルサービス…公的サービスでなく民間による非公式な支援のこと。

質問2：ひきこもり対策について。

現状：社会問題として増加傾向にあり、扶養者と共に高齢化し貧困につながっている。

観点：市として支援体制・協議体の設置などを整えることが喫緊の課題。地域福祉の構築がひきこもり支援にも有効となる。

答弁(市長)：社会参加支援、居場所づくり、家族支援など支援体制の充実を図っていく。

質問3：第4次総合計画後期基本計画(H28～H32)における計画的インフラ整備について。

現状：市内の橋梁670橋あるうち、現在点検済92橋の3割ほどに「早期に対策が必要」という結果が出ており、残りの橋梁についても同じ割合で早期に対策が必要となる恐れがある。

観点：市民の安全・安心のために、財政的にも優先されるべき計画として、速やかに進められなければならない。

答弁(市長)：必要不可欠な社会資本であり、その安全管理は最優先で取り組むべき重要課題であると認識している。橋梁点検結果の情報公開を市のHP等で閲覧できるようにしていく。

質問4：奈良市の学校現場がかかえる問題解決について。

現状：いじめはH26年度で中学校49件・小学校51件と3年間横ばい、不登校児童生徒数はH26年度で公立中学校359人・公立小学校108人、発達障がいの可能性のある児童生徒は文科省調査結果で6.5%・市の支援が必要な児童生徒数30人に1～2人。

観点：奈良市が目指す「質の高い公教育」のために、いじめ対策・不登校児童生徒への対応・発達障がい児への支援体制は、全ての児童生徒にわたり学びやすい環境となる。

答弁(市長)：奈良市「教育大綱」の教育の根幹にかかわることとして「学びのセーフティネット」と位置づけ「特別支援教育」「いじめ対策・生徒指導」「心のケアなどの支援体制」の3本柱を立て推進していく。

質問他、18歳選挙権に伴う主権者教育・H28年度予算編成方針・行財政改革重点項目について。

平成 28 年 1 月 厚生消防委員会(質問の要旨)

- ①ひきこもり支援のための「ひきこもりサポーター養成講座」の継続を要望
- ②国の補正予算「介護離職ゼロ」に向けた施策で奈良市の介護施設整備の考え方を質す
- ③子供医療費助成制度の拡大について市の方針を確認
- ④待機児童解消のため、小規模保育事業拡充するにあたり保育の質をどのように確保するか
※小規模保育…0～2歳児、定員 6～19 人、事業者・保育スペースを柔軟に対応できる事業
- ⑤幼保再編計画案の平城西幼稚園と平城幼稚園の統合・こども園化により通園が困難になる園児への対応措置について

皆様のお声を実現しました！

写真以外に、ひとり親家庭の相談体制、ナラ枯れ対策
子ども医療費助成制度(中学 3 年生の通院まで拡大)



鶴舞小学校裏
道路に白線の書直し



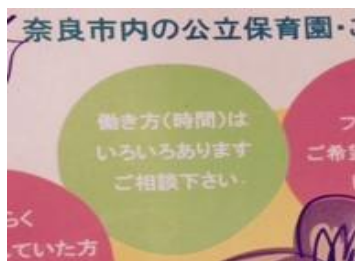
朱雀超昇寺橋(近鉄線路上)
交差点右折ライン



朱雀バンビーホームの
屋根・波板の交換



朱雀 5 丁目公園
水はけ・段差解消



保育士の柔軟な働き方の提供
(H27 年 7 月質問により)



佐保台西町
街灯新設 6 本



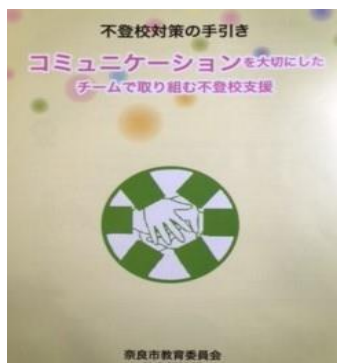
ならやま大通り朱雀
1 丁目歩道改修



駅前団地横の歩道の
街灯新設



学園朝日町 街灯新設



「不登校対策の手引き」
(H27 年 5 月・9 月質問により) 下水道新設



西大寺赤田町 1 丁目
下水道新設



西大寺赤田町交差点
歩道ポール

ふじ田さちよホームページ：<http://www.komei.or.jp/km/nara-fujita-sachiyo/>

Facebook ページ：「奈良市議会議員 ふじ田さちよ」